

# 年金部会だより

2003.8.1  
滋賀銀行従業員組合  
年金者部会

## 21世紀の年金制度改革の方向性

…04年度金改悪のねらいと内容…

1. 7,050万人と3,000万人の総力をあげて、あかるい、豊かな21世紀をつくるチャンス。

- (1)今の日本の年金制度のあらまし
- (2)急いで改革しなければならない問題点

2. 2004年、年金改悪の内容とねらいはどこにある。

(1)基本になる年金制度の『構造改革』の二つの選択肢

・「現行水準維持方式」か「保険料固定方式」か。

どちらを選んでも、負担(保険料)は増え、年金額は下がる。

あわせて、年金生活者の収入も減らされる仕組み

・「5年ごと」から「毎年、自動的」への変換。

(2)ねらいは、二つの体制への従属システムの確立。

(軍事大国化…国家予算配分… 国際競争力強化のための総額人件費抑制政策への従属体制へ)

(3)「支え手ふやす」のスローガンで、女性と高齢者の年金を変える。

- ①短時間(パートなど)労働者の年金加入の促進。(400万人が対象)
- ②第3号被保険者の取り扱い
- ③高齢労働者の新たな創出と収奪
- ④企業年金、個人年金の問題

3. 年金改憲をゆるさない世論づくりと改革のための政策

(1)多数派の力を結集して、全額国庫負担の「最低保障年金制度」を創設する。

(2)前提条件の整備とセットで。

雇用、賃金、営業収入の向上、安定で、経済を再生させる。

(3)財政方式と積立金の非民主的運用の改革。

(4)当面する制度改善の視点

①基礎年金の国庫負担割合3分の1を2分の1に増額し、保険料を下げる。

国民年金で8,000円、厚生年金、共済年金で2%

段階的に金額国庫負担にもっていく。

②受給資格期間25年を当面10年間に短縮する。

③遺族年金の改善。国民年金の差別と併給制限など

10月26日(日)AM10:00 年金者部会総会を

予定しています。全員の出席で楽しく!

## 「みんなが安心」の 年金制度をめざして

7月26日草津サンサンホールに  
おいて年金学習会が開催され、組合

から2名が参加しました。また、事務局長の  
山本武一郎さんが当日の資料を書記局に届けて  
下さいました。  
学習会で年金実務センター所長の公文昭夫  
氏がされた講演の概要(レジュメ)を紹介しま  
す。

### (1) 国民年金(老齢)

受給権者数 1,600万人

平均年金額 5.1万円

男性 5.7万円・女性 4.6万円

### (2) 厚生年金(老齢)

受給権者数 752万人

平均年金額 17.6万円

男性 21.0万円・女性 12.5万円

### (3) 国家公務員共済

受給権者数 58万人(連合調査)

平均年金額 21.9万円

男性 22.5万円・女性 18.5万円

(平成12年度・事業年報01/3現在)